

| 科目名  |                         | 建築設備   |      |   |      |
|--|-------------------------|--|------|---|------|
| 担当教員   |                         | 伊與部 聖奈   |      | 実務授業の有無   | 有    |
| 対象学科   |                         | 建築大工科  | 対象学年 | 1   | 開講時期 |
| 必修・選択  |                         | 必修   | 授業形式 | 講義  | 時間数  |
| 授業概要、目的、授業の進め方                                     |                         | <p>授業はプリントを使用し、分かりやすい言葉を用いたり図を描くなどして、イメージがしづらく取っ掛かりにくい設備分野の理解、知識習得を目的とする。また、練習問題を実施し、どのような出題形式で問われるかも合わせて確認する。</p> <p>後期では、給排水衛生設備、換気設備、電気設備、照明設備、とどの試験でも中心的に問われる分野を学習する。</p> <p>後期に目指す2級建築施工管理学科試験、そしてその後の2級建築士学科試験を見据えて、詳しく学習する。</p> |      |   |      |
| 学習目標<br>(到達目標)                                     |                         | 2級建築施工管理学科試験、2級建築士試験合格レベルの知識定着を目標とする。  |      |   |      |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料                                 |                         | 初学者の建築講座 建築設備（第四版）   |      |   |      |
| NO.  | 授業項目、内容                 |  |      | 学習方法・準備学習・備考  |      |
| 1  | 照明設備                    |  |      | 照明設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。   |      |
| 2  | 昇降設備                    |  |      | 昇降設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。   |      |
| 3  | 空気調和設備                  |  |      | 空気調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。   |      |
| 4  | 消防設備                    |  |      | 消防設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。   |      |
| 5  | 設備図面・設備記号               |  |      | 設備図面・設備記号を理解し、重要事項を読み取ることが出来る。  |      |
| 6  | 省エネ設計                   |  |      | 省エネ設計における設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。  |      |
| 7  | ※各分野ごとに評価テストを行う。（4回を予定） |  |      |   |      |
| 8  | ※毎回の授業で授業要点レポートに取り組む。   |  |      |   |      |
| 9  |                         |  |      |   |      |
| 10   |                         |  |      |   |      |
| 評価方法・成績評価基準  |                         |  |      | 履修上の注意  |      |
| 評価テスト  | 授業要点レポート                |  |      | 各分野ごとに評価テストを行う。評価テストに加え、授業ごとに授業要点レポートの提出を課すのでその評価も加える。課題提出を課した場合は、提出の有無、提出期限の厳守、課題内容によって評価をする。評価テストはもちろん、日頃の学習を疎かにすることなく、授業に臨むこと。 |      |
| 80 %   | 20 %                    | %  | %    | 建築設備は快適な居住環境を整えるためになくてはならないもの。身の回りで使われているところを探し、イメージを持って学習しましょう。  |      |
| 成績評価基準は<br>A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |                         |  |      |   |      |
| 実務経験教員の経歴  |                         | 意匠設計実務4年   |      |   |      |